

岐阜県中部山岳国立公園活性化基本構想の概要

1 地域の特徴 ～ 飛騨山脈に育まれた大自然・温泉・食・文化 ～

【国内・世界に誇る「強み」】

- ・乗鞍スカイラインを利用して、誰でも交通機関で行ける国内最高所（標高2,702m）の「乗鞍畳平」を訪れ、貴重で雄大な大自然を満喫することができる。
- ・山麓には、露天風呂数全国第1位の「奥飛騨温泉郷」が広がり、大自然が広がる非日常的な空間の中で、癒し・やすらぎが得られる。

白山山頂と
同じ標高

（１）国立公園の大自然

《豊かな自然、手軽な高山帯へのアクセス環境》

- ・変化に富んだ山岳景観（急峻な槍・穂高連峰と広大な乗鞍岳）
- ・高山帯の貴重な動植物（ライチョウや高山植物）
- ・山麓に広がる豊かな森や水（五色ヶ原の森や平湯大滝）
- ・高山帯への容易なアクセス（乗鞍スカイラインや新穂高ロープウェイ）

《多様な利用が可能》

- ・登山、トレッキング（初級者でも3千m級まで登山が可能）
- ・自然観察（ライチョウや高山植物、星空の観察）
- ・学術研究（生態系・地球温暖化・宇宙線・火山・砂防等）

《先進的な自然環境保全》

- ・日本初の環境保全に特化した目的税の創設（乗鞍岳）
- ・日本初のガイド付き入山を義務化した五色ヶ原の森



（２）奥飛騨の温泉

- ・露天風呂数国内第1位、湧泉量国内第3位の豊かな温泉地・奥飛騨温泉郷
- ・多彩な山岳景観（笠ヶ岳、焼岳、槍・穂高連峰など）や秘境の風情を楽しむことができる

（３）飛騨地方の食や文化

- ・山々と温泉に恵まれた食文化（飛騨牛、朴葉味噌、飛騨の山椒、高冷地野菜など）
- ・山麓で育まれた文化と伝承（鶏芸や獅子舞などの祭礼行事、数多く残る円空仏）
- ・山岳にまつわる伝承と歴史



この地域の「日本一・日本初」

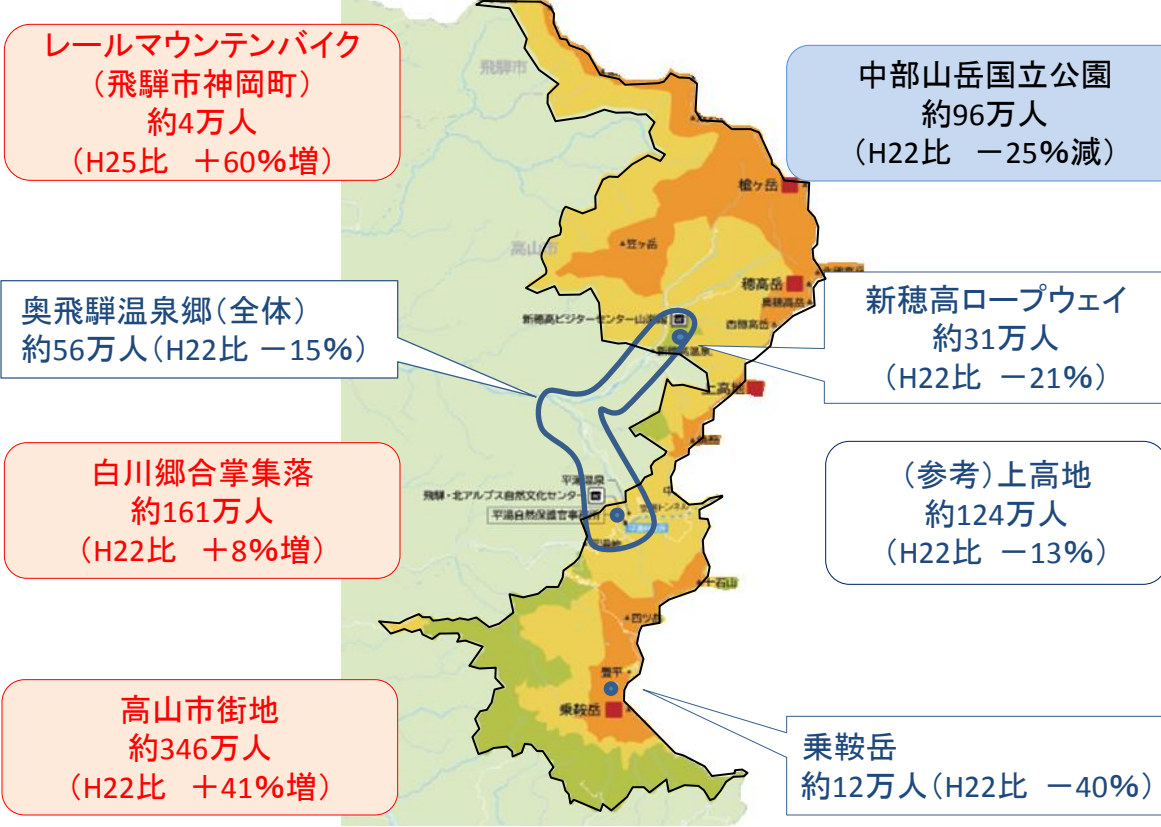
- ・乗鞍岳
交通機関で行ける日本一高い場所
- ・奥飛騨温泉郷
日本一の露天風呂数
- ・新穂高ロープウェイ
日本唯一の2階建てロープウェイ
- ・先進的な環境保護
日本初の環境保全に特化した目的税（乗鞍岳）
日本初のガイド付き入山を義務化した五色ヶ原の森



2 利用の現状

- ・中部山岳国立公園（岐阜県側）の訪問者数が、平成23年以降減少。
- ・「高山市街地」、「白川郷合掌集落」や「飛騨市（神岡町）」で行われているレールマウンテンバイクは、観光客を増やしている。

＜平成27年の入込客の状況＞



出典：岐阜県観光統計、長野県観光統計

3 活性化に向けた課題

- （１）地域の強み（資源）に対する認識が十分でなく、強み（自然と温泉、自然と文化など）同士の連携や情報発信が不足
- （２）国立公園内の玄関口となる総合利用拠点が不足
- （３）雨（曇り）の日や冬季にも楽しむことができる「飛騨ならではの楽しみ方」づくりが必要
- （４）高齢者・障がいのある方、訪日外国人など、誰もが訪れ、楽しむための受入態勢が不十分
- （５）国立公園内の既存施設（トイレ・看板等）が老朽化
- （６）自然と地域を守り、伝えていくための担い手の育成が必要

4 コンセプト

「誰でも体験できる3,000m級の高山帯、飛騨^{ひだ}人^{びと}のもてなしと露天風呂めぐり」

この地域の魅力を発掘し、磨き上げるとともに、この地域の良さを知り、多くの方々にこの地域を訪れていただくために、次の取組みを進めていきます。

5 取組方針

【方針1】豊かな地域の資源を「知る」

- 豊かな地域の魅力を知り、誇りを醸成

＜取組例＞

- ・ 地域の人々が乗鞍・奥飛騨の魅力を学び、伝え、誇りを持つ機会の創出
- ・ 地域の人々が訪問者に魅力を語れる場づくり

笠ヶ岳とロープウェー

奥飛騨温泉郷

平湯大滝結氷祭



- 飛騨山脈の「大地と自然の恵み」を学ぶ

＜取組例＞

- ・ ジオパークの取組推進と自然環境教育拠点の整備
- ・ 学習旅行等の誘致・受入態勢づくり

自然環境学習

かまくらづくり体験

高山植物(コマクサ)



【方針2】強みを活かし魅力・活力を「創る」

- 「乗鞍・奥飛騨ならではの魅力」の発掘・磨き上げ・発信

＜取組例＞

- ・ 自然、温泉、食を活かした地域の魅力の向上
- ・ 「乗鞍・奥飛騨の楽しみ方」の仕組み作り・発信
- ・ 国立公園の情報発信拠点の整備
- ・ 上質な滞在空間の提供
- ・ 安全安心な登山環境づくり

ライチョウ

五色ヶ原の森

乗鞍の雲海



- 持続的な活力の創出

＜取組例＞

- ・ ガイドが活躍できる体制づくり
- ・ 利用者受入態勢の整備（多言語表記、Wi-Fi、バリアフリー、ツアーデスク等）



ツアーデスク



【方針3】乗鞍・奥飛騨らしさを守り、後世に「伝える」

- 自然の保護と利用の両立

＜取組例＞

- ・ 先進的な環境保全対策の継続・進化
- ・ 人数を限定したガイド付ツアーによる自然体験
- ・ 利用マナーの啓発や情報提供のための拠点整備
- ・ 景観や生態系に配慮した自然公園施設づくり

高山植物のお花畑

五色ヶ原の森(ガイド付ツアー)



- 乗鞍・奥飛騨の魅力を守り伝える人づくり

＜取組例＞

- ・ 質の高いガイド（自然・地質・登山等）の育成
- ・ 大学生や高校生等に対するガイド体験学習会
- ・ 小中学生の環境意識向上、学習旅行の場の創出(再掲)

自然保護のガイド

地域の植生のガイド



6 関係団体と連携した取組の推進

国、県、高山市、地元観光協会、民間企業、地元各種団体等と連携、飛騨市、白川村、隣接する長野県松本市(上高地、乗鞍高原)との連携、中部山岳国立公園関係県である新潟県、富山県、長野県、その他国立公園の活性化を志す各種団体と連携

基本計画の策定

県・市・地域の関係団体が実行
する内容を持ちより策定

計画の実行

団体間の連携を図り、
各団体が主体的に取り組む

進捗管理と見直し

毎年、取り組みを評価検証し、
改善を進める